

インプレッサおよびフォレスター、レガシィのリコールについて

平成25年3月28日

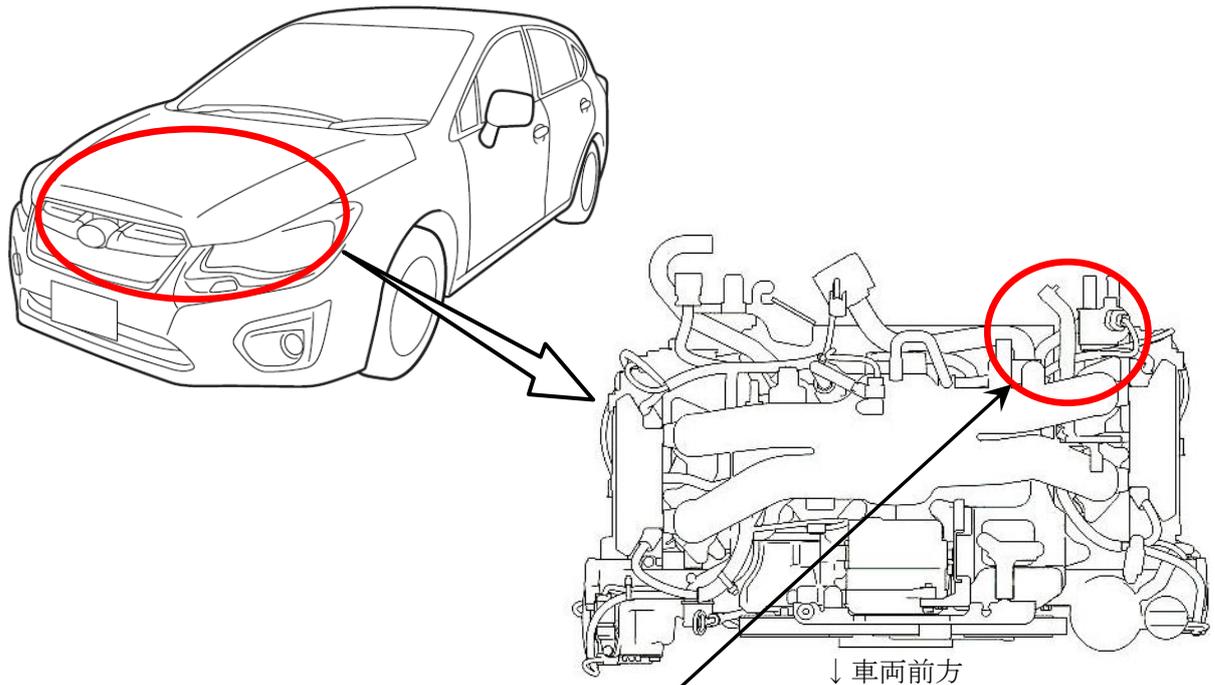
平成25年3月28日、富士重工業株式会社より、国土交通省にインプレッサおよびフォレスター、レガシィのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	3129	リコール開始日	平成25年 3月28日
不具合の部位(部品名)	原動機(電気配線)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エンジンハーネスの配索が不適切な状態で組み付けられたため、使用過程でハーネスの一部が吸気マニホールドの取付けボルトに押し付けられるものがある。そのため、ハーネスが損傷し、そのまま使用を続けると、アイドル不良、警告灯点灯などが発生し、最悪の場合エンジンが停止して再始動できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該エンジンハーネスを点検し、配索が不適切であった場合は、適切な配索に修正する。また、当該エンジンハーネスのハーネステープ表面に擦れがある場合には、テープを巻き直し、芯線に損傷がある場合には、エンジンハーネスを新品に交換する。		
不具合件数	1件	事故の有無	0件
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。 ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo. 3129のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	DBA-GJ2	「インプレッサ」	GJ2-002400~GJ2-002782 平成24年 2月 9日~平成24年 3月22日	373	
	DBA-GJ3		GJ3-002176~GJ3-002487 平成24年 2月 4日~平成24年 3月22日	293	
	DBA-GJ6		GJ6-002143~GJ6-002572 平成24年 2月 4日~平成24年 3月22日	424	
	DBA-GJ7		GJ7-002762~GJ7-003773 平成24年 2月 4日~平成24年 3月23日	993	
	DBA-GP2		GP2-003210~GP2-004650 平成24年 2月 4日~平成24年 3月23日	1,416	
	DBA-GP3		GP3-002544~GP3-003217 平成24年 2月 4日~平成24年 3月23日	653	
	DBA-GP6		GP6-002495~GP6-003451 平成24年 2月 4日~平成24年 3月23日	948	
	DBA-GP7		GP7-004290~GP7-006170 平成24年 2月 4日~平成24年 3月23日	1,848	
	DBA-SHJ	「フォレスター」	SHJ-021396~SHJ-024379 平成24年 1月23日~平成24年 4月10日	2,970	
	DBA-BMM	「レガシィ」	BMM-002001~BMM-002012 平成24年 4月16日~平成24年 7月30日	12	
DBA-BRM	BRM-002001~BRM-002024 平成24年 4月16日~平成24年 7月30日		23		
	(計11型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成24年 1月23日~平成24年7月30日	(計9,953台)	

※対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

エンジンハーネスの配線が不適切な状態で組み付けられたため、使用過程でハーネスの一部が吸気マニホールドの取付ボルトに押し付けられるものがある。そのため、ハーネスが損傷し、そのまま使用を続けると、アイドリング不良、警告灯点灯などが発生し、最悪の場合エンジンが停止して再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該エンジンハーネスを点検し、配線が不適切であった場合は、適切な配線に修正する。また、当該エンジンハーネスのハーネステープ表面に擦れがある場合には、テープを巻き直し、芯線に損傷がある場合には、エンジンハーネスを新品に交換する。

識別

エンジンハーネス集中カプラー上部に白色ペイントを塗布する。

注: は、点検を行い、必要に応じて修正、交換する部品を示す。

